



デロンギ トースター

型式番号 **CTO2003J**
家庭用

※ 本体の型式番号「CTO2003J」の後に続くハイフンおよびアルファベットは、色番号を表すものです。

取扱説明書

この度は、デロンギ トースター CTO2003J をお求めいただきまして、誠にありがとうございました。製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。



Made in China

CTO2003Jの特長

- **ベーグルなどに便利な片面焼き機能**
ベーグルやイングリッシュマフィンなどのパンを片面だけトーストできます。
- **冷凍パンの解凍機能を搭載**
冷凍したパンを、解凍しながらトーストできます。
- **10～4枚切のパンに対応したスロット**
約 12～30 mm 厚のパンが焼けます。
- **無段階の焼き目調整**
焼き目調整目盛表示によって好みの焼き加減にできます。
- **引出し式くす受けでお手入れ簡単**
- **埃よけカバー付**

目次

・安全上のご注意	1 ～ 3
・各部の名称とはたらき	4
・初めてお使いになる前に	5
・使用手順：パンの焼きかた	6 ～ 7
・使用手順：いろいろな焼きかた	8
・お手入れのしかた	9
・故障かな?	10
・仕様	10
・アフターサービス	裏表紙

安全上のご注意

各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」「注意」の2つに分け、明示しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

4. 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

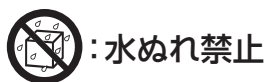
この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



: 禁止



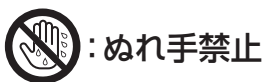
: 接触禁止



: 水ぬれ禁止



: 分解禁止

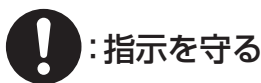


: ぬれ手禁止



: 風呂・シャワー室での使用禁止

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



: 指示を守る



: 電源プラグを抜く



警告

電源／コンセントについて



取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない
感電や発熱の原因。



延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは
絶対に使わない
発火の原因。
コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱
します。

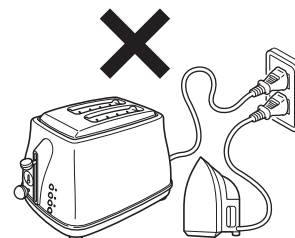


電源は交流 100V (50/60Hz) で「15A
125V」と記されている壁面のコンセントに直
接差し込む
火災・感電の原因。

15A 125V



コンセントは本製品だけ（単独）で使用する
発火の原因。
他の器具と併用すると、コンセント内部が異常
発熱します。





警告

電源プラグ／電源コードについて



電源コードは破損したまま使用しない。また、電源コードを傷つけない（加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・束ねる・重い物を載せる・挟み込むなど）

感電・火災の原因。

電源コードが破損している場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）に相談する。



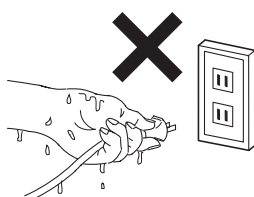
動作中に電源プラグを抜き差ししない

感電・火災の原因。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電・ケガの原因。

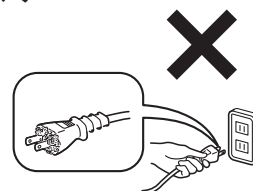


電源プラグは、根元までしっかりと差し込む

火災・感電の原因。



電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く
火災の原因。



電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

ショートによる発火の原因。

使用中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電源を切り、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）に相談する。

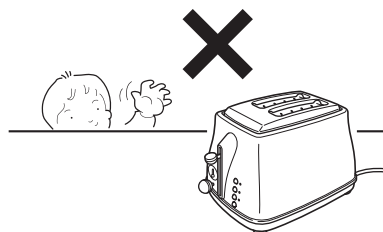


使用中／使用後について



お子様だけでは使わせない。幼児の手の届くところで使わない

ヤケド・感電・ケガの原因。



使用中および使用後しばらくは、トースター上部が高温になっているので、埃よけカバーをかぶせない

ヤケドの原因。



水のかかるところや火気の近くで使用しない

感電や発火の原因。



壁やカーテン、可燃物などの近くで使用しない

焦げたパンが燃えて、火災の原因。



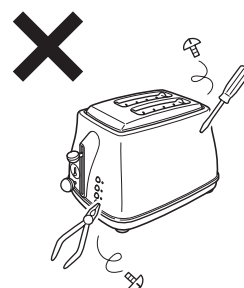
絶対に他の用途で使用しない

本製品は、家事用のパン焼き機（トースター）です。



自分で絶対に分解・修理・改造は行わない

故障や発火の原因。



使用中および使用後しばらくは、本体上部やスロット周辺は熱いので、触れたり手を入れたりしない

ヤケドの原因。



濡れたり湿ったりした手で本体やスロットに触れない

ヤケド・感電・故障の原因。



異常が生じた場合は、使用を中止する

事故や故障の原因。

万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）まで連絡する。



警告

お手入れについて



本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、各部が冷えてから行う

ヤケド・感電・ケガの原因。

使用中・使用直後のトースター上部（スロット内部およびその周辺）は高温になっているので、注意する。



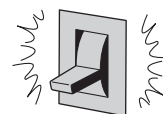
注意

電源について



ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する

使用中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、電力会社に相談する。



電源プラグ／電源コードについて



使用中は、電源コードを本体に触れさせない

感電やショートの原因。

熱で電源コードが傷みます。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、

必ず電源プラグを持って抜く

感電・ショートによる発火の原因。

設置場所について



本体は不安定なところや熱に弱いテーブルや
敷物などの上では使用しない

火災やテーブル・敷物の変色・変形の原因。



屋外や湿気の多い場所（部屋）、特殊な環境
（硫化ガスの発生する場所、塩害などのおそ
れがある場所）で使わない

火災・感電・故障の原因。

製品の劣化を早め、製品寿命や製品の安全に悪影
響を及ぼす可能性があります。

使用中／使用後について



使用中は、本体から離れない



金属製のもの（ナイフ、フォークなど）をスロット
に入れない



パン以外のものをスロットに挿入しない
故障の原因。



本体が転倒、落下したときには、使用せず、点
検を依頼する

感電・火災の原因。



必ずくず受けを取り付けて使用する

火災の原因。



使用後は、必ず電源プラグを抜く

絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因。

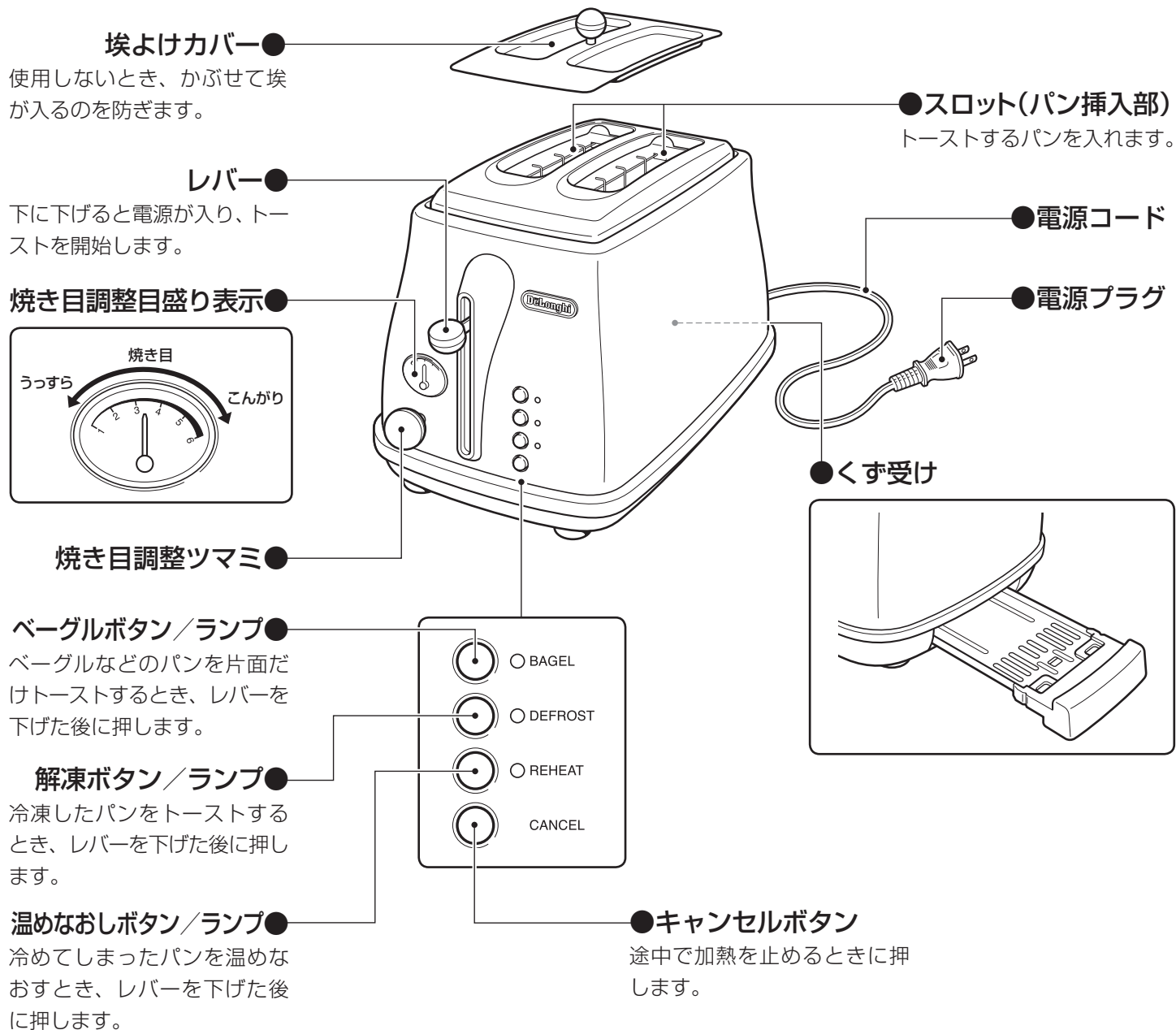
お手入れについて



絶対に、本体や電源プラグ／電源コードを水に浸したり、水洗いをしない

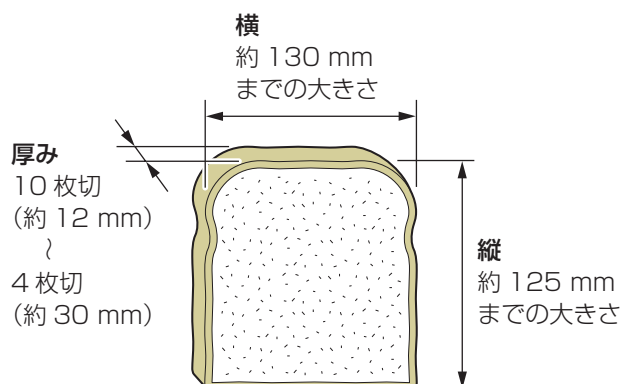
感電・火災・故障の原因。

各部の名称とはたらき



パンについてのご注意

食パンのサイズについて



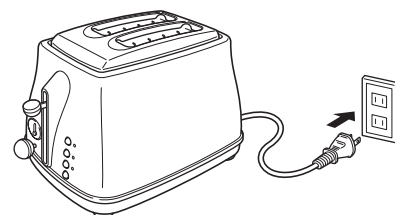
※パンがねじれたり変形している場合は、焼き上がった後、正常にポップアップしない場合があります。
(パンが引っかった場合は、7 ページを参照してパンを取り出してください)

初めてお使いになる前に

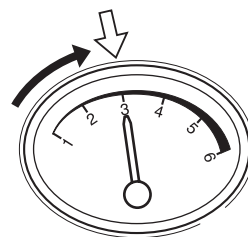
最初のご使用前に、必ず行ってください。

本製品を最初にご使用になる際は、新製品特有の臭いを抜くために、事前に必ず空焼きをしてください。空焼きをするときは、パンを入れずに本製品を操作します。
空焼きは換気をしながら行ってください。

1 電源プラグをコンセントに差し込む。



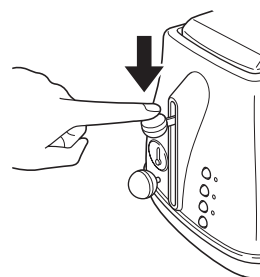
2 焼き目調整ツマミを回して、表示を「3」の目盛に合わせる。



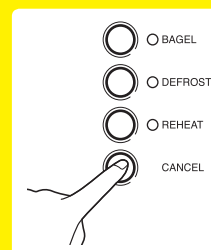
3 レバーを下げる

空焼きを開始します。約 3 分後に自動的にレバーが上がり、電源が切れて加熱を停止します。

続けてご使用にならない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。



万一、10 分以上経っても自動的にレバーが上がらない場合は、故障と考えられますので、キャンセルボタンを押して手動で電源を切り、裏表紙の弊社サービスセンターにお問い合わせください。



・ 本体内部のヒーターから臭いがしますが、これは新製品特有のものであり、異常ではありません。

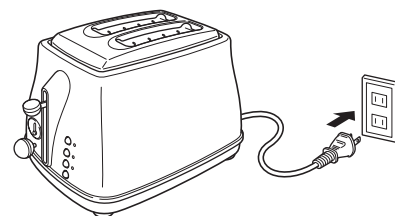
※初めてご使用になるとき以外は、空焼きしないでください。

使用手順：パンの焼きかた

1 電源プラグをコンセントに差し込む

※必ずくず受けを取り付けてください。

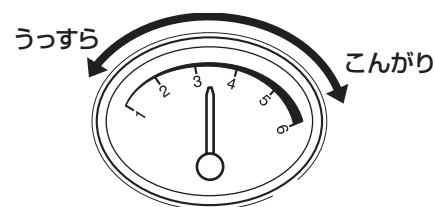
使用前に、くず受けがきれいな状態であることを確認してください。



2 パンの焼き色を設定する

焼き目調整ツマミを回して、好みの焼き色に合わせます。

- 最初は 2 ～ 3 の目盛に合わせて焼き、その後お好みに合わせて調整してください。
- パンの厚みが厚いほど焼き色が濃くなります。4 枚切（約 30 mm）の場合は、1 ～ 2 の目盛に合わせることをおすすめします。

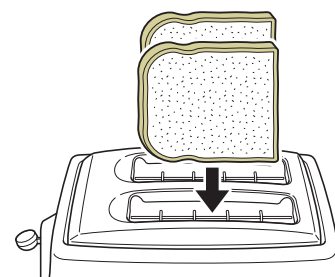


3 スロットにパンを入れる

一度に 2 枚のパンが焼けます。1 枚だけ焼く場合は、どちらのスロットに入れてもかまいません。

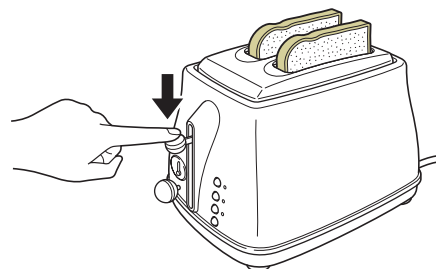


- 指定寸法（4 ページ参照）以外のパンや変形したパンを焼かないでください。
- バターやジャムなどを塗ったパン、ラップやホイルなどで包まれたパンを焼かないでください。



4 レバーを下げる

レバーの動きに合わせてパンが下がります。レバーをいちばん下まで下げると、その位置でレバーが固定され、加熱を開始します。ベーグルや冷凍したパンを焼く場合、トーストを温めなおす場合は、レバーを下げた後に、ボタンを押します（8 ページ参照）。



途中で加熱をやめるには

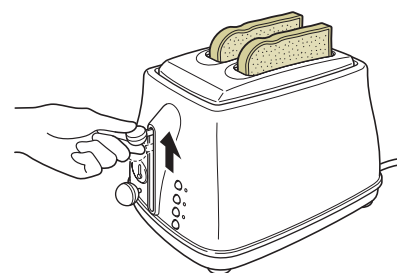
キャンセルボタンを押してください。加熱を停止し、レバーが自動的に元の位置に上がって、パンがポップアップします。

使用手順：パンの焼きかた（つづき）

5 焼き上がったパンを取り出す

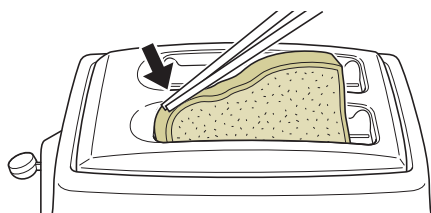
パンが焼けると自動的に加熱を停止し、レバーが自動的に元の位置に上がって、パンがポップアップします。スロットからパンを取り出してください。

小さなパンなど、スロットからパンが取り出しにくいときは、レバーをいちばん上まで上げてください。レバーの動きに合わせてパンが上がり、パンを取り出しやすくなります。



パンが引っかかったら

直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
木製のはしなどで引っかかったところを押して、外してください。



⚠ 警告

金属製のものは、絶対に使用しないでください。
感電する恐れがあります。

⚠ 注意

トースター上部の温度は非常に高くなりますので、
やけどにご注意ください。



ヤケド注意

本体上部（スロットおよびその周辺）は熱くなりますので、パンを取り出すときはやけどに注意してください。



注意

使用後しばらくは、トースター上部が高温になっているので、埃よけカバーをかぶせないでください。

6 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

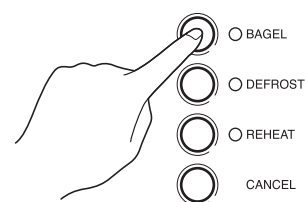
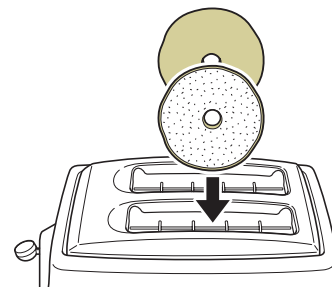
使用手順：いろいろな焼きかた

ベーグルを焼く

ベーグルやイングリッシュマフィンなどのパンを片面だけトーストすることができます。

ベーグルやイングリッシュマフィンは、上下二つに切り、切った面を外側に向けて、スロットに入れます。

レバーを下げて、ベーグルボタンを押すと、外側の面だけがトーストされます。



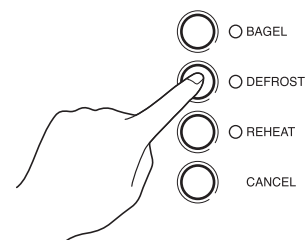
パンが冷凍されている場合は、レバーを下げた後、ベーグルボタンと解凍ボタンを続けて押してください。パンを解凍し、外側の面をトーストします。パンを片面だけ温めなおす場合は、レバーを下げた後、ベーグルボタンと温めなおしボタンを続けて押してください。外側の面を一定の時間加熱します。

冷凍されたパンを焼く

冷凍されたパンを解凍しながらトーストするときは、レバーを下げた後に、解凍ボタンを押してください。

通常より少し長く加熱します。

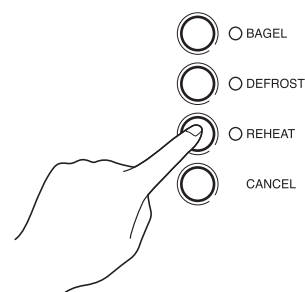
焼く前に、パンに付着した霜等を軽くはらってください。



トーストを温めなおす

一度トーストして冷めてしまったパンを温めなおすときは、パンを入れてレバーを下げた後に、温めなおしボタンを押してください。

温めなおしは、焼き目調整目盛りの設定に関係なく、一定の時間加熱します。



お手入れのしかた

使用頻度や汚れ具合にもよりますが、下記の要領でお手入れをしてください。

警告



事前に、必ずプラグをコンセントから抜いてください。



使用後すぐのお手入れは、お止めください。ヤケドの危険があります。トースター上部（スロット内部およびその周辺）が冷えてから行ってください。

注意

パンくずは、トーストの度に毎回捨ててください。パンくずから煙が出たり引火する恐れがあります。

お手入れの前に

くず受けを本体から取り外し、パンくずを捨ててください。

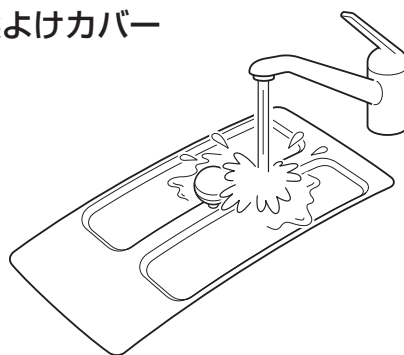
- ・再びくず受けを本体に取り付ける際は、水平な状態でゆっくり取り付けてください。くず受けがきちんと本体に収まっていない場合は、もう一度取り付け直してください。
- ・ガラス磨き、シンナー、アルコール、ワイヤーウール、金ブラシ、たわし、研磨スポンジなどを使用しないでください。

＜水洗いできます＞

くず受け



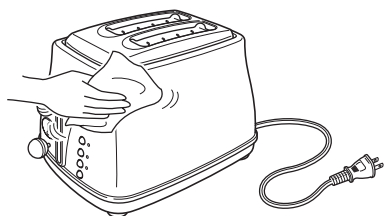
埃よけカバー



水洗いした後、完全に乾かしてください。

＜水洗いできません＞

本体
電源プラグ
電源コード



- ・表面の汚れは、固く絞った濡れ布きんで拭き取ります。
- ・落ちにくい汚れは、少量の台所食器用洗剤を含ませた布で拭き、次に、固く絞った濡れ布きんで洗剤をよく拭き取ります。
- ・電源プラグ／電源コードは、柔らかい布でから拭きだけしてください。

▶ 水に浸けることは、絶対にお止めください。

故障かな？

修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、使用を中止してください。その後、本体および各部が冷えてから、以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は、裏表紙の「アフターサービスについて」を参照してください。

症状	予想される原因	対処のしかた
パンが下がらない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込む
パンが上がらない	パンが指定より厚すぎる	30 mm 以内の厚さのパンを使用してください (4 ページ参照)
	パンが引っかかっている	木製のはしなどで押して取り出す (7 ページ参照)
パンがよく焼けない	焼き目調整ツマミの目盛設定が低すぎる	焼き目調整ツマミで目盛を高めに設定する
	湿ったパンを焼いた	焼き目調整ツマミで目盛を高めに設定する
	冷凍されたパンを焼いた	レバーを下げた後、解凍ボタンを押す
パンが焦げる	焼き目調整ツマミの目盛設定が高すぎる	焼き目調整ツマミで目盛を低めに設定する
	パンを焼いた後すぐに次のパンを焼いた	次のパンは前のパンを焼いた後 30 秒以上経ってから焼くか、焼き目調整ツマミで目盛を低めに設定する
冷凍パンに焼きむらができる	解凍ボタンを押さずに焼いた	レバーを下げた後、解凍ボタンを押す

仕様

製品名称／型式番号	デロンギ トースター／CTO2003J
定格：電圧／周波数／消費電力	交流 100V ／ 50/60Hz ／ 900W
外形寸法／質量	幅 195 × 奥行 330 × 高さ 210 (mm) ／ 2.0 kg

各部	材質
本体	スチール + ABS + ポリプロピレン
くず受け	スチール
埃よけカバー	

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル (PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル (PBDE) の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



アフターサービスについて

1) 使用中に異常（★）が生じた場合は、ただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。その後、お求めになった販売店または**弊社サービスセンター（下記参照）**にご相談ください。

—〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉—

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・本体の機器内部に水などの液体をこぼした
- ・本体に強い衝撃を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2) 万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に **1. お求め時期 2. 製品名称と型式番号 3. 故障の状況**——を連絡のうえ、修理を依頼してください。なお、弊社サービスセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。

※宅配便の場合は、必ず**故障の状況を記したメモ**を商品パッケージ（梱包箱）に同封してください。

※送り先については、事前にお電話あるいはホームページ（<http://support.delonghi.co.jp>）にてご確認ください。

3) 保証期間中（1 年）は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。

4) 補修用性能部品の保有期間について

弊社では、この製品の補修用性能部品について、最終輸入日を起点に 5 年間保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5) 真心点検のおすすめ：長い期間ご使用いただくために、専門技術者による点検・整備も実施しております。点検の依頼方法、料金などにつきましては、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。



※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。

ご 購 入 年 月 日： 年 月 日

6) デロンギ再資源化システムについて：



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※**外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。**

※送り先については、事前にお電話あるいはホームページ（<http://support.delonghi.co.jp>）にてご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター （受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30 ～ 18:00）

コールセンター 修理について Tel.0120-804-280

Tel.0120-692-885

お問い合わせ Tel.0120-064-300 / Fax.045-450-3291

Tel.0120-692-880

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-9 安田倉庫（株）内 4 号ビル

ホームページでのお問い合わせ（URL） <http://support.delonghi.co.jp>

DeLonghi デロンギ・ジャパン株式会社

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-5-6 第3大東ビル

www.delonghi.co.jp イタリアのライフスタイル情報満載！会員登録でプレゼントのチャンスも！

